

おう吐物等の処理方法

＜準備しておくもの＞ すぐに使えるように、日頃から1つにまとめて準備しておきましょう。

用 途	必要物品
処理する人が感染しないようにする	使い捨てのガウン(エプロン), マスク, 手袋
消毒液を作る	消毒液原液(塩素系漂白剤等) 消毒液計量カップ 消毒液希釈用容器(バケツ等)
消毒する(消毒液を浸す)	ペーパータオル, 古布や古タオル(使い捨てできるもの)
汚染されたものを密封する	汚物入れ (バケツ等にあらかじめビニール袋をセットしておく) ビニール袋(数枚) ※厚めのビニール袋は、ゴムで止めて足カバーとしても使うことができます。

＜処理前の事前準備＞

処理する人以外が下痢, おう吐物のまわりなどの汚染区域に近づかないようにしましょう。

※おう吐物は周囲2メートルくらいに飛散します。

＜処理の実際＞



①使い捨てのガウン(エプロン), マスクと手袋を着用する。



②バケツ等の汚物入れに、ビニール袋の口を開け、セットする。



③汚物中のウイルスが飛び散らないように、ペーパータオル等で静かに拭き取る。



④拭き取ったおう吐物等と、拭き取りに使用したペーパータオル等をビニール袋に入れる。



⑤拭き取った後は、消毒液で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをする。

※拭く際には、汚染区域の外側から内側に向かって拭く。



⑥ビニール袋の口をしっかりと縛り、密封する。(この際、ビニール袋に廃棄物が十分に浸る量の消毒液を入れることが望ましい。)



⑦おう吐物等を入れたビニール袋を、別のビニール袋に入れる。



⑧手袋を裏返しながら脱ぎ、一緒にビニール袋に入れる。使い捨てのマスクやガウンも外側に触れないように注意して脱ぎ、入れる。



⑨内側を触らないようにして、ビニール袋の口を縛り、捨てる。

＜処理後は・・・＞ ○必ず手洗いをしましょう。

○ウイルスが屋外に出て行くよう十分に換気を行いましょう。

○次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)は金属腐食性がありますので、消毒後の薬剤の拭き取りを十分に注意してください。